

しずみおのひろば

2025年11月号

日本基督教団札幌会
NO.561 第561号



「主に仕えます」

ヨシユア記24:13-15

イスラエルの人々は、エジプトから出てモーセさんと共に旅を続けてきました。40年もの年月が過ぎ、その間にモーセさんは亡くなり、代わりにヨシユアさんが神様の言葉を語ってくれました。そしてやつと、神様が与えて下さったカナンへとたどり着きました。

先週は、神様がイスラエルの人々に与えて下さった最初の街、エリコのお話しでした。みなさんには毎日幼稚園や学校また会社から帰るお家がありますか？お腹が減ったらおやつやごはんを食べ、ゆつくりと安心して眠ることのできる布団やベッドがありますか？お腹が減ったらおやつやごはんを食嬉しいとき、しんどい時に話ができる教会がいつもこの場所にあります。

イスラエルの人たちは、長い間旅を続ける生活だったのでとっても大変でした。今の私たちの旅といえば、旅先の旅館やホテルを予約し、着いたら、布団やベッド、食事も用意されていますが、ヨシユアさんたちの旅はそんな旅ではありませんでした。

イスラエルの人たちはエジプトを出発した時には大人の男の人だけで60万人以上いたそうです。長い長い行列です。それに食べ物もたくさん必要です。旅の間はずっと大変なことだらけだったことでしょう。でも、本当の屋つぶち、もうダメだと思いう時、いつも神様が共にいて守り導いて下さったんです。そうしないと、またカナンの地へは到底たどり着くことができませんでした。

なので旅を続けてきたみんなは、大層喜びました。だって、お家を建て、そこに住むことができたなら、寒い冷たい風から身体を守り、夜ゆつくりと眠ることが出来ます。暑くて喉がからからに渴いてもお水を汲んでお家に溜めておいたら、いつでも飲むことができます。土地があれば野菜やお豆、木の実を収穫することが出来ます。

イスラエルの人々は、大勢だったので12のグループに分けて、それぞれに住む所が与えられました。神様がヨシユアさんを用いて下さって、やつとカナンまで来ることが出来ました。そして生活がこの地で始められます。神様、本当にありがとうございます。

そしてある日、ヨシユアさんはイスラエルの皆をシケムに呼び集めました。そして言いました。「カナンでいよいよ新しい生活が始まるけれど、これから神様を信じ、仕えて行きましょう！もし神様ではなく他の神様たちを信じるなら、それも自分で選びなさい。しかし、私と私の家族はこれからも唯一のわたしたちの神様に仕えて行きます。」とヨシユアさんは力強く語られました。

カナン地方の周りの国々では、別の国の神さまを礼拝していました。また、沢山の神々を礼拝することが自然でした。それでヨシユアさんは言ったんです。「私と私の家族はわたしたちの主に仕えます。皆さんはどうしますか？」とたずねられました。そこでイスラエルの人々は言いました。「これまで私たちを愛し守り、これまで導いて下さった主を捨てて、ほかの神々に仕えることなどするわけがありません。私たちも主に仕えます。そのみ声に聞き従います。」そう約束したのでです。

神様はみんなのことを愛し、守り、導いて下さっています。住む家、お腹いっぱい食べるご飯、安心して過ごせる毎日を与えて下さっています。でも、たとえ住む家があっても、また毎日の食べるご飯があっても、人生には毎日の生活に色々な出来事が起こります。そんな時、皆さんはどうしますか？もう神様を信じることをやめますか？でもそんな時にも、どんな時にも主なる神様を信じ従っていきましょう。神様は私たちを必ず守り導いて下さいます。何があっても愛して下さっています。イエス様がそのしるしです。だからどんな時にも主なる神様に従い、その神様におもいを打ち明け、祈りましょう。すぐにはなくても神様は思いもつかない答えを下さいます。そして前に進めて下さいます。そのことを信じて今日から始まる一週間も歩みましょう。



(おはなし 林 和子先生)